



東大寺 212 世別當 筒井寛秀 筆

【発行】

奈良県肢体不自由児者父母の会連合会

<http://www.narakenshiren.gr.jp>

【発行責任者】 前田 妙子

【メールアドレス】

honbu@narakenshiren.gr.jp

コロナ禍での新しい生活様式の中で

会長 前田 妙子



平素よりご支援、ご協力いただいております皆さま方に心より感謝申し上げます。

例年では総会に合わせて六月に発行してきます広報誌「道」ですが、コロナ禍の中、役員が集まって作業することもできず九月の発行となりました。

今年度は、総会は書面決議、役員会はオンラインを活用、理事会も六月までは中止とし、新型コロナウイルスの感染予防に最大の配慮をしながらの活動となりました。このような状況の中で例年通り活動することは難しく、父母の会として何ができるのかを考えました。コロナ禍の今、障害児者や家族、事業所の方々等も日常生活の様々な場面で今までと違った不自由さに直面しています。まずは、全肢連の「新型コロナウイルスによる障害福祉サービスに関するアンケート調査」を基に、会員の声に耳を傾けて要望や意見などをまとめることにしました。多くの親が不安に感じていることは、「障害児者や介護している親が感染した場合どうしたらいいのか?」「親が付き

添えるのか?」ということですが、具体的にどういう対応になるのかを当会から奈良県へ問い合わせ、受け入れ病院等の調整を進めていただいているところです。また同居する家族が感染の疑いがある場合、障害児者と一緒にPCR検査を受けられるようになり、県から市町村経由で関係機関に周知の連絡をして下さっています。

学校は休校・分散登校が長引き、通所等は自主的に自粛、間引き利用とするところもあり、一時的に在宅生活が長引き、家族の負担が増えたという声もありました。訓練や外来受診、短期入所を縮小しているところもありコロナ以前のように利用できない現状でもありません。施設入所の人は面会もままならず、親は子どもがどう過ごしているのか心配しています。昨年に引き続き、全肢連の相談事業を受託しましたので、今後も会員の困りごとを聞き取り、国や県へ声を届けていきたいと思います。

コロナ禍の中でも、国は福祉サービスの自粛は要請しませんでした。おかげで事業所や施設等は、

やその家族の生活を支え続けて下さっています。私ごとですが、平時と変わらず入浴介助に来てくださるヘルパーさん達、あらゆる感染症対策を講じて生活介護を継続している事業所のおかげで、親子共々なんとか困らず生活できています。あらためて感謝しますとともに、障害児者やその家族を支えて下さる事業所や施設、そこで働く職員が万全の感染症対策ができるよう、コロナ対策で職員が疲弊しないよう対策を講じて頂きたいと願います。国は、福祉サービスの維持のため、感染症対策の支援や職員の慰労金支給等を第二次補正予算に計上されましたので今後の動きに期待したいと思います。

終息の兆しも見えず不安は尽きませんが、ひとりひとりができる感染予防をし、お互いを思いやりながらコロナ禍でのあたらしい生活様式を取り入れ元気に乗り切つてまいりましょう。

さて、三月末日をもちまして前事務局長 菰口悦子さんは円満退職されました。二十五年にわたり事務局長として父母の会活動を支えて下さいましたことに心より感謝申し上げます。後任の事務局として四月より阿部宜子さんが就任いたしました。コロナ禍で対面の会議や作業がしにくい中、Web会議や、才

ンラインでの情報共有など新しい方法を取り入れて会の運営を進めてくださっています。この状況下で事務局交代のご挨拶とお知らせが大変遅くなりましたことお詫び申し上げます。



親子県外交流事業

新年会・親子で楽しむ集い

く心魂プロジェクトさんのおくりものく

令和二年一月二十五日(土)

奈良ロイヤルホテル

王寺町 小林 美保

ホテルに着いて、お母さん方や学校の先生方、たくさんの方々を掛けて頂いて、娘はとても嬉しそうでした。また、心魂プロジェクトさんの会場いっぱい広がる歌声には感動してしまいました。ミュージカルを観てみたい気持ちになりました。娘も「Let it

Go」、「生まれてはじめて」、「アングラー・ザ・シー」など知っている歌には大きな口を開けて声を出していました。

食事は、刻み食をお願いして色々なコース料理と一緒に食べる事ができ嬉しかったです。再調理しなくてよかったですとても助かりました。ホテルでのお食事、素敵な時間になりました。用意してくださったホテルの方、ありがとうございました。

本部役員の皆さん、大変お世話になりました。娘の喜んでいる様子を見て、とても嬉しい限りです。楽しい時間をありがとうございました。



奈良養護学校 西川さん親子

(小六)

親子交流事業(心魂プロジェクト)

に参加させていただきました。ありがとうございます。おかげ様で当日はとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

冬休み前に手術をし、クリスマスもお正月も病院で過ごしていました。痛い辛い思いを頑張ったごほうびに：と心魂さんのイベント

を親子共にとても楽しみにしていました。音楽や照明が大好きですがなかなかコンサート等に連れていくことも難しく、あのようになぐ目の前で素晴らしい歌声や周りの楽しい雰囲気を感じる事ができるのは他にないのでとても有り難いです。本人も目をまんまるにしてキョロキョロ、大きな音にノリノリで楽しんでいました。私も心温まる時間となり、感動させてもらいました。

心魂の方々には遠くからにもかわからず、たくさん元気をいただきました。障害のある子と家族に：と思いを寄せて活動して下さって、本当に頭の下がる思いです。又、活動を支えられ、繋げて下さっている父母の会の方々にも深く感謝いたします。この度は色々とお世話になりました。ありがとうございました。

例年は十二月に「親子の集い」として行っておりましたが、今回は新年会と同時開催とし、来賓の方々(障害福祉課 畑澤様、明日香 養護学校 長屋校長、奈良養護学校 平井校長、進路支援部 平谷先生)もご参加いただき、子供たちと一緒に楽しいひと時を過ごしました。

研修部会報告

役員 朝長 智子

令和元年度の研修部会は次のとおり開催いたしました。

・新旧研修部会 4月19日(金)

「三十年度研修部会の振り返りと、今後研修したいことについての意見交換」 24名参加

・映画観賞会 6月27日(木)

「やさしくなめに」 58名参加

・全肢連相談事業

7月23日(火)～10月29日(火) 24名参加

・全国大会 (福島県肢連)

9月14日(土)～15日(日) 「住み慣れた地域で共生社会の実現」 5名参加

・あいサポーター研修

11月6日(水) 25名参加

・近畿ブロック地域指導者育成セミナー

12月7日(土)～8日(日)

「肢体不自由児者への合理的配慮とは」～災害時の住まい～ 6名参加

「やさしくなめに」という映画のことは、東大寺福祉事業団奈良親子レスバイトハウス主催の市民交流セミナーで上映されたことがきっかけで知りました。てんかん発作のある奈緒ちゃんの家族の日常を、三十五年間、あるがままに映したドキュメンタリー映画です。とてもやさしい気持ちになれる映画だったので、本会研修会でも上映することにしました。映画の表題は奈緒ちゃんが時折「やさしくなめに」と言わなくちゃ」とつぶやくことからとられています。

「やさしくなめに」鑑賞会は、本会会員のみならず、事業所の職員さんなど、子どもたちとかかわってくださる方たちにも参加を募集しました。お忙しい中参加していただき、丁寧な感想も寄せていただきました。感想には、「自分の家族を見つめなおすきっかけになった」と書いておられる方もありました。映画を見終わった後、奈緒ちゃんの映画後の様子をお母さんから手紙で知らせてもらっていたので、それを読みました。障害があるかないかにかかわらず、親と子のそれぞれの自立には、喜びと不安がいつばいあるけど、それそれの居場所を作っていくのだからと気づかされました。

いせフィルムwww.isefilm.comには、他にもたくさん作品があります。今後の研修会で上映出来たらいいなと考えています

参加してくださった皆様ありがとうございました。



本人部会報告

役員 宿利 三知恵

令和元年度の本人部会は次のとおり開催いたしました。

・ほっと一息交流会

5月25日(土)

3名参加

近況報告や現在困っていること、また今年度の活動についてざっくりばらんに話し合いました。

・カラオケを楽しむ会

8月3日(土)

13名参加

檀原市のカラオケ店のパーティ

ルームでみんな熱唱しました。

・ボッチャを楽しむ会

8月24日(土)

36名参加

パラリンピックの競技でもあるボッチャを体験しました。二つのチームに分かれ対戦。午後は風船バレーもして、大盛り上がりでした。

・淡路ワールドパーク

ONOKORO (中止)

2月29日(土)に本人たちの希望を募って決めた淡路島の淡路ワールドパークへ出かける予定でしたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。改めて企画しますので、お楽しみに。

参加してくださった皆様ありがとうございました。



陽だまり笑顔の会

静的弛緩集中学習会に

参加して

檀原市 岡崎 美奈子

陽だまり笑顔の会では、月に一度親子学習会を、年に一度集中学習会を実施しています。

毎月の親子学習会は、第一曜日の午前十時十二時に行っています。からださん元気ですか体操音楽に合わせた集団体操と、その日のテーマに沿った学習、そして車椅子に乗っての楽器演奏といった内容です。

年に一度の集中学習会では、日々悩んだり困ったりしていることを事前に申し出て、講師の先生から解決策を学びます。

今年の集中学習会は、九月二十八、二十九日の二日間でした。参加者は初日七家族、二日目八家族、研修生は初日十名、二日目十三名でした。講師はお馴染みの志垣司先生、石毛安子先生、佐々木春代先生でした。三名は元東京桐が丘支援学校の先生で、退職後理学療法士の資格を取得された方々です。

長年の研究と経験により培われた静的弛緩誘導法をプロとしてより多くの人に施術するために新たに理学療法士という道を選ばれた先生方には敬意の念を抱かずにはいられません。余程の強い信念がなければなし得ないことだと思えます。そのような立派な先生方にご指導いただけることを心より嬉しく思っています。

私の長男の耀一は十二歳のときに交通事故で脳に強いダメージを受けました。今もその後遺症により全身麻痺の状態です。事故からすでに十五年が過ぎました。最近はず手足の拘縮が気になっていました。特に左手関節の内側への屈曲がほぼ出来ない状態であり、このまま関節は固くなり続けるのではないかと心配していました。しかし、有効な運動方法が分からないままなんとなくときが過ぎていきました。その問題に担当の志垣先生が明快に答えて下さいました。まず、曲がりやすい方向(外側)へゆっくりと曲げる、そして次に曲がりにくい方向(内側)に曲げる。最後にゆっくりと円を描くように回す。決してギョツギョツと無理に曲げないように、と。実践してみると円運動は回数を重ねるに従って大きく回せるようになりました。もちろん、急に可動域が広がる

るわけではありません。それにその日よく曲がるようになっても翌日にはまたもとに戻っています。しかしながら継続することによって拘縮の進行は遅らせられるのではないかと感じています。

少しずつですが、集中学習会で学んだことを日々実践しています。そして毎月の学習会で確認し、気持ち新たにしています。会には共に励まし合い、気持ちを分かち合える仲間もいます。ひとりでは難しくても、仲間や先生方と一緒に続けたいけると思えます。



仔鹿会

仔鹿会会長 山本 真由美

令和元年度も月例会、ミニミニキャンプ・総会、第五十回心理療育キャンプ、第四十五回心理リハビリテーション全国大会(長崎)と一年間の活動を無事に終えるこ

とができました。様々なお力添えをいただいております皆様の支えがあつてこそと、心よりお礼申し上げます。

五十回目という大きな節目を迎えた今回の夏の療育キャンプの総合指導には、トレーニーからの強い要望が叶い昨年に引き続き、明治学院大学心理学部の清水良三教授をキャンプ長に研究会より毛利孝先生をお迎えして、八月九日から十四日まで椿寿荘にて行いました。キャンプの会場につきましては、長年お世話になっていた椿寿荘が借りできないかもしれないなどの事態に会場探しに困り途方に暮れておりましたが、沢山の方のご協力のお陰で慣れ親しんだ椿寿荘で例年通りキャンプを行わせていただくことが実現しました。この件でも多くの方にご支援をいただき参加者は感謝の気持ちでいっぱいの中、キャンプがスタートしました。また、キャンプ直前には臨床動作法の生みの親であり永きに渡り研究・推進をして下さった成瀬悟策先生が八月三日に永眠されたとの悲しい知らせがあり、参加者は成瀬先生が心理リハビリテーションに力を注がれた思いを胸に一週間を過ごしたキャンプでもあり、今年も十名のトレーニーを囲んで「つなごう手と手 交わ

ろう心と身体」をテーマに穏やかに優しく丁寧、それでいて力強さを感じるキャンプとなりました。この様に素晴らしいキャンプが開催できましたのも奈良県をはじめ奈良県教育委員会、両特別支援学校、協賛して下さった企業のご支援のお陰であることを決して忘れてはいけないと痛感しております。本当にありがとうございます。

年末に長崎で行われた心理リハビリテーション全国大会には研究会の先生 十四名と保護者一名が参加しました「いつでもどこでもいつまでもわたしたちのそばに」社会が開かれた心理リハビリテーションがテーマで、身近で、年齢を重ねても、そして誰もが受けることができるリハビリテーションであるべきとの願いが込められた大会でした。参加して印象に残ったのは全国的にトレーニー保護者の高齢化とともにトレーニー自身の年齢層が高くなり取り巻く環境の大きな変化によりリハビリの継続が難しくなってきたることや、夏の療育キャンプ五泊六日日程の開催が様々な要因から困難になってきていることでした。また、災害支援動作法の講演はとも興味深く拝聴しました。

新型コロナウイルス感染拡大により月例会等の開催は自粛となり、活動再開の目途が立たないままトレーニーたちの身体の状態が気がかりな日々を過ごしております。夏の療育キャンプ、月例会の開催の方法など活動について大きく見直す必要があると検討をしております。なかなか見通しがつきにくい日々ではありますが、動作法を必要としているトレーニーの笑顔に出会えることを励みに、安全・安心に活動できるように努めてまいりますと思います。

今後とも仔鹿会の活動に皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会報告



令和二年度総会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催を中止し、地域の代表である各理事による書面決議とさせていただきます。おかげさまで、すべての議案において、可決となりました。

通常とは異なる方法での協議・議決となり、ご協力いただき

ました理事のみなさま、また会員の皆さまのご理解に改めまして感謝申し上げます。

事務局紹介



本年四月より、事務局で仕事をさせていただいております阿部宜子（あべよしこ）と申します。未曾有の事態での着任となつてしまい、皆さまへのご挨拶が遅くなり、皆さまへの感謝しながら、日々を過ごしております。

奈良県肢連での業務は、慣れない事ばかりではございますが、前任の菰口さまの積み上げていらした事務局への信頼を失うことのないよう、前田会長を始めとして役員のみなさま、理事の皆さまにご指導いただきながら、ひとつひとつ丁寧に進めていく所存です。

まだまだ至らないことばかりではございますが、会員のみなさまに寄り添い、気軽にお声がけいただけるような事務局を目指してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

デザイン募集

当会では、パンフレットやホームページなどで利用する「シンボルマーク」を会員のみなさまから募集することにいたしました。

左記の注意事項をご確認の上、事務局まで作品をお送りください。

《注意事項》

- ▼ 原則として、奈良県肢体不自由児者父母の会の会員またはそのお子様が作られたデザインを募集します。
- ▼ 正方形のスペースに収まるマークとし、手書き、電子データいずれでも受け付けます。
- ▼ 未発表の作品をご応募ください。
- ▼ 採用された作品の権利および著作権は当会に帰属することとします。
- ▼ 採用された作品について、当会から一部修正を依頼する場合があります。

《応募先》

(郵送先)

〒634-0061 橿原市大久保町320-11
奈良県社会福祉総合センター2階

《応募締切》

令和2年11月30日(月)

honbu@narakenshiren.gr.jp

(メールアドレス)

ホームページから情報入手

皆さま、奈良県肢体不自由児者父母の会連合会のホームページをご覧になったことはございますか？ これまでは、当会の活動を少しずつ掲載しておりましたが、今年度より会員のみなさまに役立つ情報なども、タイムリーにご紹介していきたいと思っています。時々、のぞいていただけたら嬉しいです。

また、「〇〇を載せて欲しい」「△△があったら助かる」などご意見がございましたら事務局までお寄せください。

ホームページ URL : <https://www.narakenshiren.gr.jp/>
県肢連メールアドレス : honbu@narakenshiren.gr.jp



お 知 ら せ



◆全肢連相談事業

日程：令和2年9月15日（火）～12月31日（木）

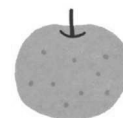
方法：電話、メール、文書、FAX、WEB相談シート等

会員の皆さまのお困りごとやご質問などを役員がお聞きし、解決に向けて一緒に考えていきたいと思ひます。上記のいずれかの方法で県肢連へご連絡ください。

なお、WEB相談シートは、県肢連HPから入力いただけます。会員限定となりますので、アクセスの際にパスワード **nara** をご入力ください。

◆今年度の開催中止が決まった事業

- ・奈良まほろば館（東京都）チャリティー書画展
- ・近畿ブロック地域指導者育成セミナー



◆令和3年度 近畿ブロック福祉大会 日程

2021年7月3日（土）クレオ大阪中央（予定）

◆奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭

開催期間：令和2年9月1日（火）～11月30日（月）



※両芸術祭については、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の情勢を踏まえて、中止又は延期する場合があります。

編集後記

原稿をお寄せくださった皆様、誠にありがとうございます。コロナ禍にて発行が三か月遅れとなり、又、ボリューム縮小版になりましたことお詫び申し上げます。

この夏は、梅雨が長引き涼しく過ごせるかと思いきや、梅雨明けすると三十五度を超える酷暑となり、マスクが手放せない生活している今は、通勤、通学、買い物一つも大変な毎日となりました。そんな中、私たちを支えて下さる医療関係者、行政、事業所、施設の方々には、本当に感謝いたします。私たちは、新しい生活様式に戸惑いつつも、ずいぶん慣れてきたのではないのでしょうか。コロナ対策、熱中症対策をしながら、この困難を乗り越えていきましょう。又、皆で顔を合わせて活動できる日を楽しみにしております。

